

## 仮封・歯髄覆罩剤

ネオダイン<sup>®</sup> 粉末  
ネオダイン<sup>®</sup> 液NEODYNE<sup>®</sup>

貯法：光を避けて室温で保管すること。  
使用期限：外箱及びラベルに表示の使用期限内に使用すること。

承認番号	粉末 13513KUZO8669007 液 13513KUZO8669008
保険適用	1953年 4月
販売開始	1953年 4月
再評価結果	1988年 6月

## 【組成・性状】

## 1. 組成

粉末 100 g 中に次の成分を含有する。

〈有効成分〉	酸化亜鉛	60 g
〈添加物〉	ロジン	
	水酸化カルシウム	
	酢酸亜鉛	

液 100 mL 中に次の成分を含有する。

〈有効成分〉	ユージノール	100 mL
--------	--------	--------

## 2. 製剤の性状

粉末：微黄白色の粉末で、かすかにロジンのにおいがある。

液：無色～淡黄褐色澄明の液で、特異な芳香がある。

## 【効能・効果】

歯髄の鎮痛、鎮静及び象牙質の消毒を兼ねた仮封、歯髄覆罩

## 【用法・用量】

セメント練板上にて粉末と液剤を練和し、パスタ状として用いる。

## 【使用上の注意】\*

## 1. 副作用

## 過敏症（頻度不明）

過敏症状が現れた場合には、使用を中止し、適切な処置を行うこと。

## 2. 適用上の注意

(1) 軟組織に対し局所作用を現すおそれがあるので、口腔粘膜等に付着させないよう配慮すること。

(2) 軟組織に付着した場合には、直ちに清拭し、消毒用エタノール、グリセリン、植物油等で清拭するか、又は多量の水で洗うなど適切な処置を行うこと。

また、手指等に付着した場合には、石けん等を用いて水又は温湯で洗浄すること。

万一眼に入った場合には、直ちに多量の水で洗浄する等の適切な処置を行うこと。

(3) 歯科用のみ使用すること。

## \* 3. その他の注意

急性毒性（練和物）<sup>7)</sup>ラット (Wistar ♂) 経口 LD<sub>50</sub> > 15 g/kg【臨床成績】<sup>1)</sup>

適用	症例数	成績		
		良好	概良	不良
歯髄鎮痛・鎮静	195	189	4	2
間接歯髄覆罩	106	104	2	0

## 【薬効薬理】

## ＜薬理作用＞

本剤の歯髄鎮痛・鎮静作用と消毒作用は、ユージノールによるものであり<sup>1)4)</sup>、ユージノールのフェノール係数は3.3である<sup>6)</sup>。本剤の硬化物を用いての細菌発育阻止試験では、*Staphylococcus aureus*、*Enterobacter cloacae*、*Escherichia coli* に対して持続的な細菌発育阻止帯を認めた<sup>4)</sup>。

## ＜封鎖性＞

本剤をガラス管内に封塞し、色素液中に懸垂した場合、4～7日間色素の浸透を認めない<sup>2)3)4)</sup>。また、無水硫酸銅を用いたガラス管による水密性試験においても7日間にわたって完全な水密性を示した<sup>5)</sup>。

【有効成分に関する理化学的知見】<sup>8) \*</sup>

## 1. 一般名：酸化亜鉛 (Zinc Oxide)

化学名：Zinc oxide

\* 分子式：ZnO (分子量：81.41)

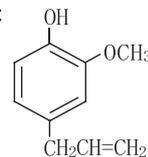
性状：本品は白色の無晶性の粉末で、におい及び味はない。本品は水、エタノール (95)、酢酸 (100) 又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品は希塩酸又は水酸化ナトリウム試液に溶ける。本品は空気中で徐々に二酸化炭素を吸収する。

## 2. 一般名：ユージノール(オイゲノール) (Eugenol)

化学名：2-Methoxy-4-(2-propenyl)phenol

分子式：C<sub>10</sub>H<sub>12</sub>O<sub>2</sub> (分子量：164.20)

構造式：



\* 性状：本品は無色～淡黄褐色澄明の液で、特異な芳香がある。本品はエタノール (99.5)、ジエチルエーテルと混和する。本品は水に溶けにくい。

## 【包装】\*\*

1. 粉末 50g

\*\* 2. 液 10mL

## 【主要文献】\*

- 1) 関根永滋, 森本 優, 鈴木 繁, 北野晋一: 亜鉛華ユー  
ジノールセメント (Neodyne) の歯髄鎮痛, 鎮静並  
びに間接歯髄覆罩効果について,  
歯科学報, 53(7), 34 ~ 38, 1953.
- 2) 関根永滋, 西條征男, 鈴木 繁, 北野晋一: 亜鉛華ユー  
ジノールセメント (ネオダイン) の仮封効果につい  
て,  
歯科学報, 53(9), 22 ~ 27, 1953.
- 3) 北野晋一, 駒橋 武, 松山茂樹, 鈴木 繁, 武石義弘,  
平山浄二: 亜鉛華ユージノールセメントの封鎖性に  
関する基礎実験,  
歯科学報, 58(10), 33 ~ 35, 1958.
- 4) 関根永滋, 服部玄門, 花岡十弘, 堀江英二, 島田弘量,  
松山茂樹: 各種亜鉛華ユージノール製剤の殺菌効果  
について,  
歯科学報, 61(8), 1 ~ 6, 1961.
- 5) 江藤治鑑: 仮封材に関する研究, とくに各種酸化亜  
鉛ユージノールセメントの封鎖効果について,  
歯科医学, 38(3), 250 ~ 266, 1975.
- \* 6) 社内資料: 田畑喜作, 上田貞善: ユージノール (ネ  
オダイン液) のフェノール系数 (1976).
- \* 7) 社内資料: 前橋 浩: ネオダインのラットを用いた  
急性経口毒性試験 (1976).
- \* 8) 第十五改正日本薬局方解説書 (2006).

## 【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求  
下さい。

請 求 先: ネオ製薬工業株式会社 学術情報部  
住 所: 〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-1-3  
ホームページ: <http://www.neo-dental.com/>  
フリーダイヤル: ☎ 0120-07-3768

製造販売元



ネオ製薬工業株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号  
Tel. (03) 3400-3768(代) Fax. (03) 3499-0613